



男性79.54歳、女性86.44歳。日本は世界一の長寿国となりました。さて、これだけの長寿になると親をおくる側の年齢も50歳～60歳代となり、定年を迎える大きな節目にあたってきます。

金融広報中央委員会「家計の金融資産に関する世論調査」2009年によると、貯蓄の全くない世帯が50歳代～60歳代でともに全体の約2割。貯蓄のある世帯でも50歳代の19%、60歳代の15%は500万円未満。しかし、この年代が俗に言うリッチ世代と映る背景は、3000万円以上貯蓄がある世帯が50歳代で10%、60歳代で17%もいるからかもしれません。

この統計結果から現在50歳～60歳代の自分が、親をおくる時4割以上の方は、現在の一般的な高額な葬儀費用に頭を悩ます事になります。親をおくる葬儀費用の工面で頭を悩ますだけであれば良いですが、扶養の必要がある子供がいる、後に片親の葬儀を控えている、年金受給が減少し自分の老後の生活費用の捻出等、各種の心配不安もあります。

このような経済的背景のもと「家族葬」という親族だけで行う葬儀が普及し始めたのかもしれませんが。しかし、現実には更に変化が激しく「家族葬」は、「葬儀費用が安い葬儀」と変化しています。葬儀社の広告やHPには、低価格をうたう葬儀が乱立しています。ですが、この世界もまた「安かろう悪かろう」なのです。葬儀は儀式です。僧侶+葬儀社が一体となって執り行うものです。しかし、現状はどちらかが良ければ、どちらかが悪いという事態も多く、葬儀後に喪主からの不満の声が聞こえることも少なくありません。

喪主や家族が不満に感じる事のない低価格の葬儀を寺サイドで何か提案する事が出来ないものか？ 廣宣寺ではそれは、葬儀の原点回帰だと考えます。葬儀社経由で僧侶が先方の事情もよくわからないまま派遣されるスタイルではなく、喪主と「お寺さん」が相談のうえ喪主の意図を理解し、費用が低額なのに心温まる葬儀を執り行う事です。それには、主旨を理解し協力してくれる葬儀社が必要でした。数多くの葬儀社に協力を求めましたが、どの葬儀社も協力してくれませんでした。ですが、現状の葬儀を変えて行かなければならない。という意図を理解してくれた一社が協力してくれる事になり「廣宣寺が提案する葬儀」が、実現出来るようになりました。

「廣宣寺が提案する葬儀」の内容

1. 親族のみの「家族葬」(小規模葬儀)を多少の不便はありますが本堂で葬儀を執り行う。
2. お布施と葬儀費用を一本化し全てを含んだ金額の提示(火葬費用・飲食代等別途な項目も有り)。
3. 合祀墓への納骨(管理料不要・納骨費用も含まれる)でお墓がない方も安心です。

廣宣寺が提案する葬儀の内訳は、戒名・通夜・葬儀・初七日・七日ごとの速夜(中陰)お参り・四十九日法要・納骨。までと、葬儀費用(火葬費用・飲食代等別途な項目も有り)を全て含んでいます。

このように、お寺にまかせば安心し納得できる金額で故人・喪主・家族の意図を理解して葬儀を執り行ってくれる。というのが「廣宣寺の提案する葬儀」です。

一つだけ制約があります。 葬儀式は日蓮宗法要儀式に則って執り行います。

他の宗派(日蓮宗以外)の方もご利用出来ますが、上記の法要式で廣宣寺僧侶(日蓮宗)が葬儀式を執り行います。

「所謂、無宗教である。」という方にご利用頂きたいと考えています。核家族により、故郷から離れ独立している為、故郷の本家は菩提寺があるが、新たにこちらで葬儀を執り行いたい方。

上記の項目以外に当てはまるケースも多い事と思います。まずは「**葬儀事前登録**」に、相談内容を記入して頂ければ更に詳細にご説明させていただきます。

現代は、ネット全盛時代です。葬儀に関する多くの情報を得て取捨選択を行って下さい。そうして頂ける事により、「廣宣寺の提案する葬儀」の意味も理解して頂けるものと思います。

厚生労働省 平成21年簡易生命表より

葬儀式は日蓮宗法要儀式に則って執り行います。日蓮宗の方は当然ですが、日蓮宗以外の宗教・宗派に属していない方、菩提寺がない方に限らせて頂きます。

廣宣寺が提案する 一日葬儀『蓮華』の流れ

事前登録が必要です

ご逝去

ご逝去後、ご家族あるいは代理の方より廣宣寺又は契約葬儀社にご連絡いただきます。



お迎え

契約葬儀社が搬送の手配を整え、お迎えにあがります。



納棺・ご安置

廣宣寺にお迎えし、親しい方とご対面いただきます。納棺時読経を致します。

※宿泊は出来ません。(食事・宿泊施設はご紹介可能)

ご遺体は、本堂内にてご安置させていただきます。



お打ち合わせ

日程、参列者数などご葬儀のお打ち合わせをいたします。

火葬許可申請事務手続きを行ないます。



葬儀式 初七日

生花祭壇を整え、廣宣寺の僧侶が読経し、引導文をお読みし

最後に初七日のご回向を致します。



出棺

最期のお別れの後、高槻市葬祭センターへお移しいたします。



火葬

火葬場においてお待ち頂きお骨あげの後、全ての儀式は終了となります。



四十九日法要

葬儀終了後、改めて日程をご相談のうえ四十九日法要をつとめます。



納骨

四十九日法要時又はご要望に応じて、ご遺骨は納骨までお預り致します。

廣宣寺が提案する 葬儀『妙法』の流れ

事前登録が必要です

ご逝去

ご逝去後、ご家族あるいは代理の方より廣宣寺又は契約葬儀社にご連絡いただきます。



お迎え

契約葬儀社が搬送の手配を整え、お迎えにあがります。



納棺・ご安置

廣宣寺にお迎えし、親しい方とご対面いただけます。

葬儀式祭壇準備に取りかかります。



お打ち合わせ

日程、参列者数などご葬儀のお打ち合わせをいたします。

火葬許可申請事務手続きを行ないます。



通夜式

18時又は19時から、通夜法要を致します。

※通夜振るまい・宿泊は出来ません。(食事・宿泊施設はご紹介可能)

ご遺体は、本堂内にてご安置させていただきます。



葬儀式

廣宣寺の僧侶が読経し、引導文をお読みします。



出棺

最期のお別れの後、高槻市葬祭センターへお移しいたします。



火葬

火葬場においてお骨あげの後、お寺にお戻りいただきます。



初七日

火葬場からお戻りの後、本堂にて執り行ないます。



四十九日法要

葬儀終了後、改めて日程をご相談のうえ四十九日法要をつとめます。



納骨

四十九日法要時又はご希望に応じて、ご遺骨は納骨までお預り致します。